



7月 Zoom 研修会報告書

学習内容 第4章 数式の入力

◆ 資料テキストより 参照

Copilot (コパイロット) あなたの日常的な AI アシスタント より

「資料から Excel には 510 種類の関数がある」

これらの関数は機能ごとに分類されています。

「数学/三角関数」「日付/時刻関数」「統計関数」他

これは一部の例であり Excel の関数はさまざまな用途に応じて利用できます。

◆ Step3 いろいろな関数

● 基本的な関数とは

- 1 SUM 関数 SUM 関数とは指定したセルの合計を計算する関数 (5月学習済)
- 2 AVERAGE 関数 AVERAGE 関数は、指定したセルの平均値を計算する関数
- 3 MAX 関数 MAX 関数は、指定したセルの最大値を計算する関数
- 4 MIN 関数 MIN 関数は、指定したセルの最小値を計算する関数

サンプル5を使って練習 (必ずコピーをとってコピーで練習)

2

	A	B
1	得点表	
2	大森	100
3	小森	85
4	やまだ	50
5	並河	70
6	小川	90
7	平均	79

3

	A	B
1	得点表	
2	大森	100
3	小森	85
4	やまだ	50
5	並河	70
6	小川	90
7	最大値	100

4

	A	B
1	得点表	
2	大森	100
3	小森	85
4	やまだ	50
5	並河	70
6	小川	90
7	最小値	50

セルの平均値は

B7をクリックすると
=AVERAGE(B2:B6)出る
ホームタブのリボン⇒
Σ オート SUM▼から
平均値をクリックすると
自動で計算できます

セルの最大値

B7をクリックすると
=MAX(B2:B6)出る
ホームタブのリボン⇒
Σ オート SUM▼から
最大値をクリックすると
自動で計算できます

セルの最小値

B7をクリックすると
=MIN(B2:B6)出る
ホームタブのリボン⇒
Σ オート SUM▼から
最小値をクリックすると
自動で計算できます

◆ Step4 相対参照と絶対参照を使い分ける

参照とは「照らし合わせて見せること」

○ 相対参照

数式を書いたセルをコピーしたときに参照位置が自動で相対的に移動する機能の事

○ 絶対参照

必ず固定した H3 セルを参照します。これを絶対参照といいます

絶対参照は必ず参照セル名の前に \$ (ドル) が必要です。

(サンプル 6 を使って練習しました)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	相対参照と絶対参照							
2		単価	個数	小計	消費税10%	合計		税率
3	りんご	150	3	450	45			10%
4	バナナ	100	4	400	40			
5	甘平	350	2	700	70			
6	田園パン	660	1	660	66			
7	市田柿	600	5	3000	300			

下記の 1) ~6) の順番に消費税 10% でりんごが 45 後はオートフィルで入ります

【絶対参照】とは、

消費税が 10% の場合は

E3 のセルに 次の式を入力する (=D3*H3) (小計 X 税率)

- 1) E3 セルをクリックして = を入力
- 2) D3 セルをクリックする
- 3) *を入力 (アスタリスクは、掛け算の記号です)
- 4) H3 をクリックして
- 5) F4 キーを 1 度だけ押します。ここでの F4 キーとは (\$H\$3) \$ 記号が入ります。
- 6) Enter キーを押すと消費税が表示されます。

この「\$」(ドルと読みます)が固定の記号です。

H の前にも 3 の前にも「\$」が表示されているということは、**列も行も固定した**ということになります。

これにより E 列の数式を最下段までオートフィルでコピーしても、必ず固定した H3 セルを参照します。これを**絶対参照**と言います

◎絶対参照は必ず参照セル名の前に \$ (ドル) が必要

○ 宿題 消費税 8% でも試してみる

次回 Zoom 研修会 9月12日(木)
AM10:00~11:30

